当社工事による下水管損傷に係る影響調査の結果について

2025 年 10 月 16 日 東京電力パワーグリッド株式会社

<調査の内容と結果>

(1)路面の変状調査

損傷した下水管上部の道路 28 箇所に観測地点を設け、路面の沈下の発生状況について 2 時間毎の観測を実施中

<結果>現時点において、路面の沈下の発生は確認されていません。

(2) 地下水位の変動調査

損傷した下水管付近の5箇所に観測地点を設け、地下水位の変動状況について2時間毎の観測を実施中

<結果>現時点において、地下水位の変動は確認されていません。

(3)路面下空洞調査

- ① レーダー探査**1による路面下空洞調査を1日1回実施中 最新の調査は、10月15日に実施いたしました。
 - ※1 地中に電磁波を放射し、反射波を解析することにより地中の空洞の有無 を調査する手法(降雨等で路面が濡れている場合、実施できません)

<結果>現時点において、空洞は生じていないと判断しています。

- ② 表面波探査^{※2} による路面下空洞調査を1週間に1回実施中(実施日は毎週調整) 最新の調査は、10月14日に実施いたしました。
 - ※2 路面をハンマーで打撃し、地盤に発生する衝撃の周波数により地中の空洞 の有無を調査する手法

<結果>現時点において、空洞は生じていないと判断しています。

(4)下水管内流量調査

損傷した下水管の上流側および下流側のマンホール内部に流量計の設置を完了 しました。下水道管内の流量計側を始め、データ取得の準備を進めております。

(5) 下水管内部カメラ点検

損傷した下水管内のフロート式カメラによる確認を1週間に1回実施中 最新の点検を10月10日に実施いたしました。

<結果>下水管内の水位および損傷状況の変化は確認されておりません。